



緊急企画 講演会

入場
無料

新安保法制で 日本はどこへ行くのか



昨年9月に強行採決された新安保法制のもと、南スーダンで自衛隊員が武器を使用することが現実の問題となりつつあります。それによって自衛隊員のリスクは一気に高まります。また、「平和国家日本」のブランドは崩れ、日本がテロの標的になる危険も現実化します。

今こそ、日本国憲法9条の理念に立ち返って、新安保法制の適用を止め、廃止を求める時です。



駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

元防衛官僚と元アメリカ海兵隊員
お二人の**緊急**講演会です

2016 **11/23** 水

群馬県社会福祉総合センター
勤労感謝の日 PM1:00~

●主催/群馬弁護士会
(お問合せ: 027-233-4804)

●共催/日本弁護士連合会・関東弁護士会連合会

第1部

元防衛官僚
柳澤協二氏

「安全保障を考える
…戦争・平和・人間の観点から」



●プロフィール
東大法学部卒業後、防衛庁(当時)に入庁。防衛審議官、運用局長、官房長などを歴任し、2002年、防衛研究所長。イラク戦争当時は内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)。

●著書
「検証 官邸のイラク戦争」(2013年・岩波書店)
「亡国の安保政策」(2014年・岩波書店)
「亡国の集团的自衛権」(2015年・集英社新書)など

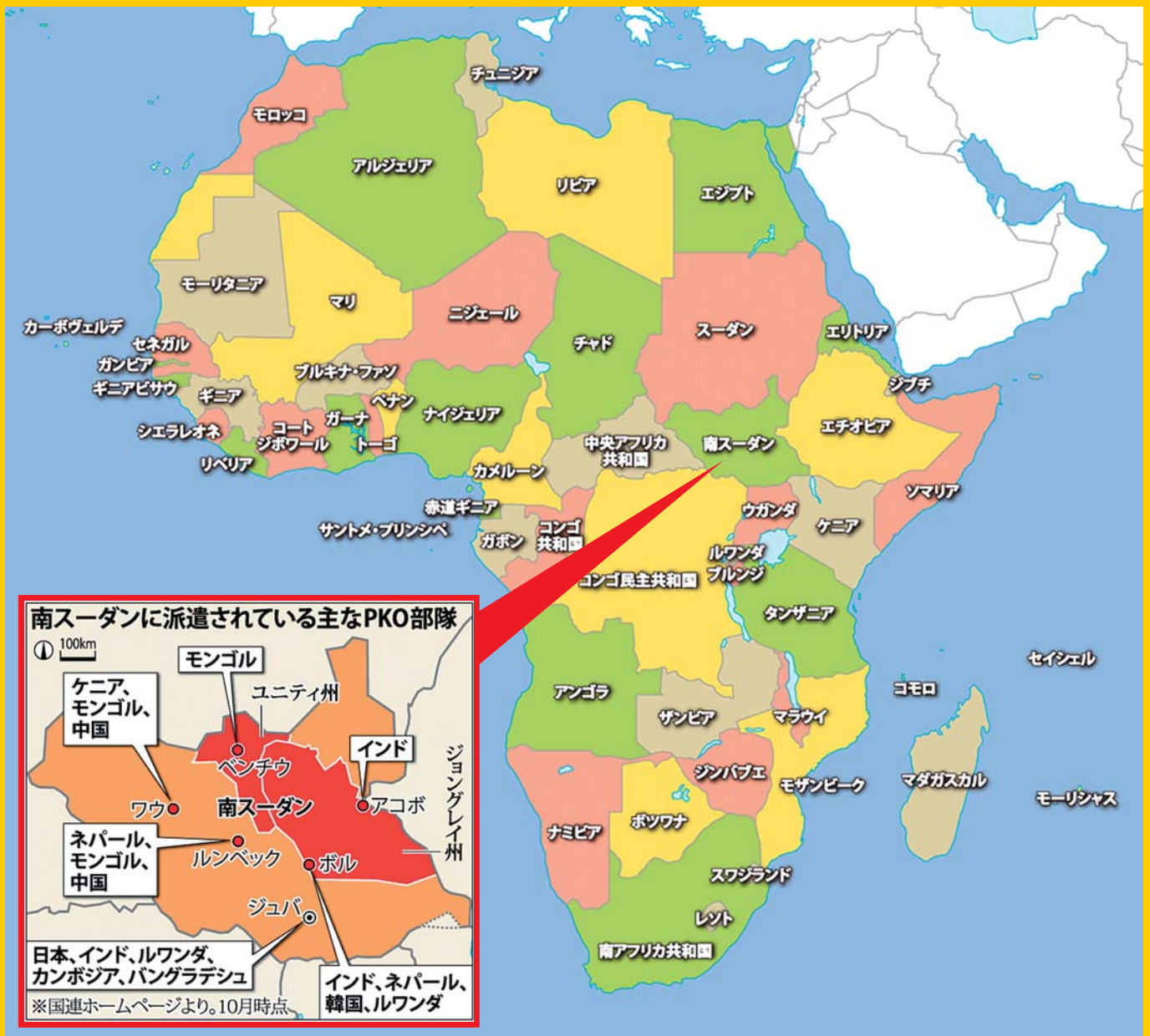
第2部

元アメリカ海兵隊員
通訳付きでのお話となります

「それでも自衛隊員を
戦地に送りますか」

—アメリカはなぜ戦争をするのか、そのメンタリティーと社会構造。それを解決するためには。—





講師の元海兵隊員は、
ベテランズ・フォー・ピース のメンバーです。

(VFP・平和を求める元軍人の会)

VFPとは、アメリカの退役軍人や家族などを中心とする国際NGOです。全米海外合わせて120の支部があり、メンバーは約8000人。戦争の実情を広く知ってもらい、元軍人を含む戦争の犠牲者を支援するなど、非暴力で世界平和のために活動しています。

沖縄・辺野古の新基地建設や高江のヘリパッド建設に反対し、フェンス越しに米兵たちに「NO WAR!」と呼びかけています。

